

1

研修概要

研修期間：9月10日～26日

渡航場所：モンゴル・ウランバートル

研修先機関：新モンゴル工科大学
(New Mongol Institute of Technology)

研修内容：ボウフウに含まれる生理活性物質の評価
研究室・工場見学



2

研修概要

研修テーマ：ボウフウの根に含まれる成分の抗がん作用の評価

名称：ボウフウ
英名： *Saposhnikovia divaricate*

漢方薬として利用され
消炎作用・止痛作用等をもつ



→ボウフウの根に含まれる成分の抗がん作用を評価

3

実験

①成分の抽出

ボウフウの根をすり潰し、
メタノールに2日間漬けた



②成分の分析

MTTアッセイ(比色定量法によって
細胞増殖を測定する方法)により
評価した

評価対象

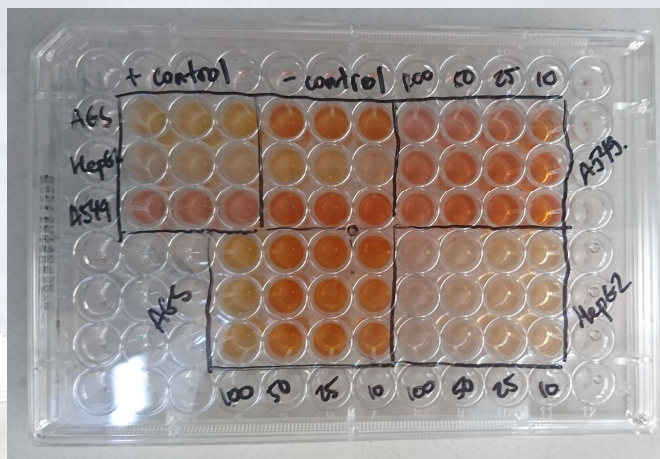
AGS...ヒト胃がん細胞株
HepG2...ヒト肝がん由来細胞株
A549...肺胞基底上皮腺がん細胞



4

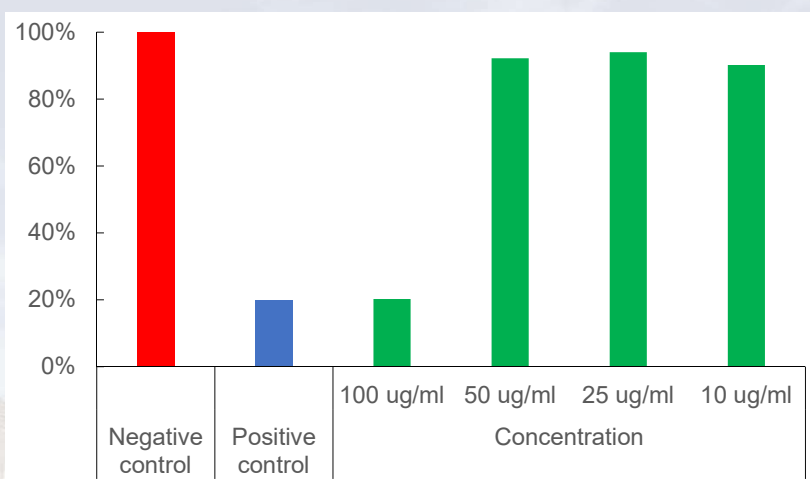
実験

MTTアッセイ



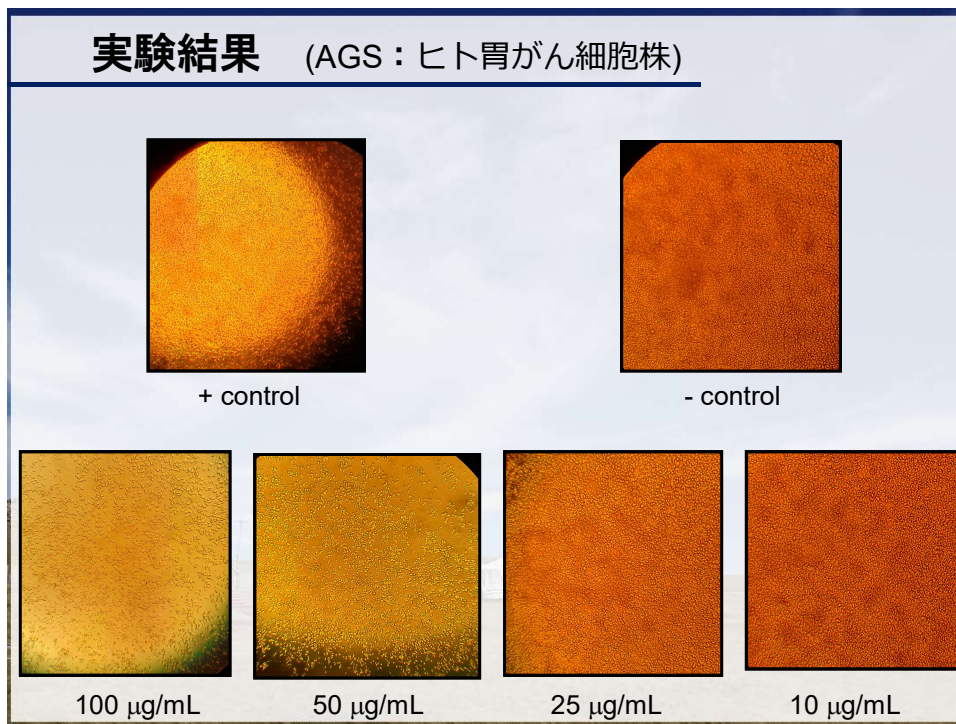
5

実験結果 (AGS : ヒト胃がん細胞株)

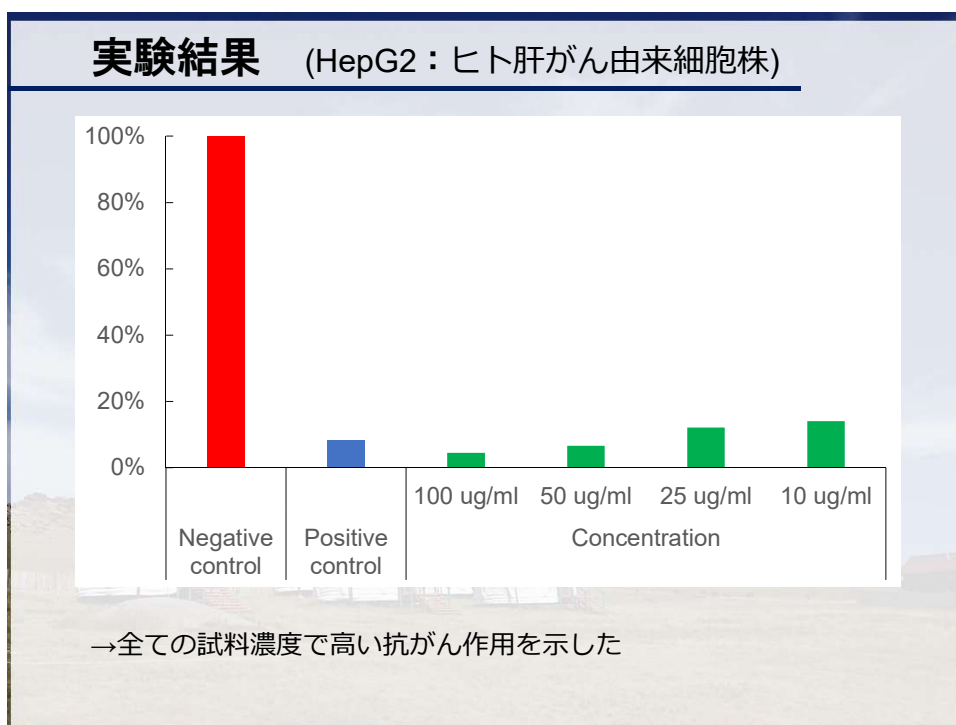


→100 ug/mLと高い濃度では抗がん剤と同等の抗がん作用を示す
50、25、10 ug/mLでは効果は見られず

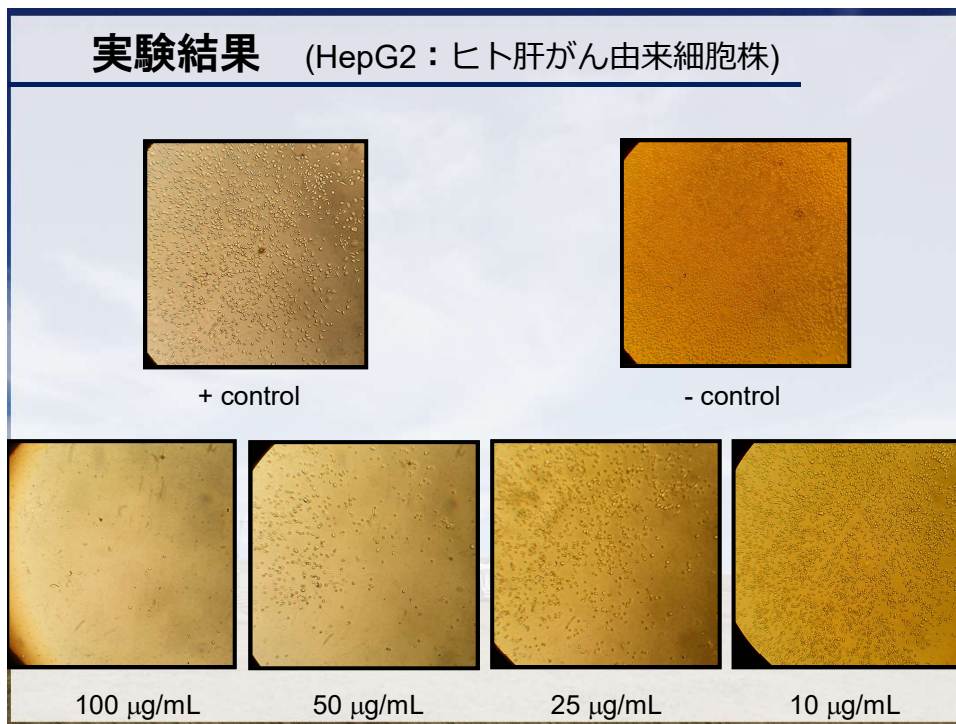
6



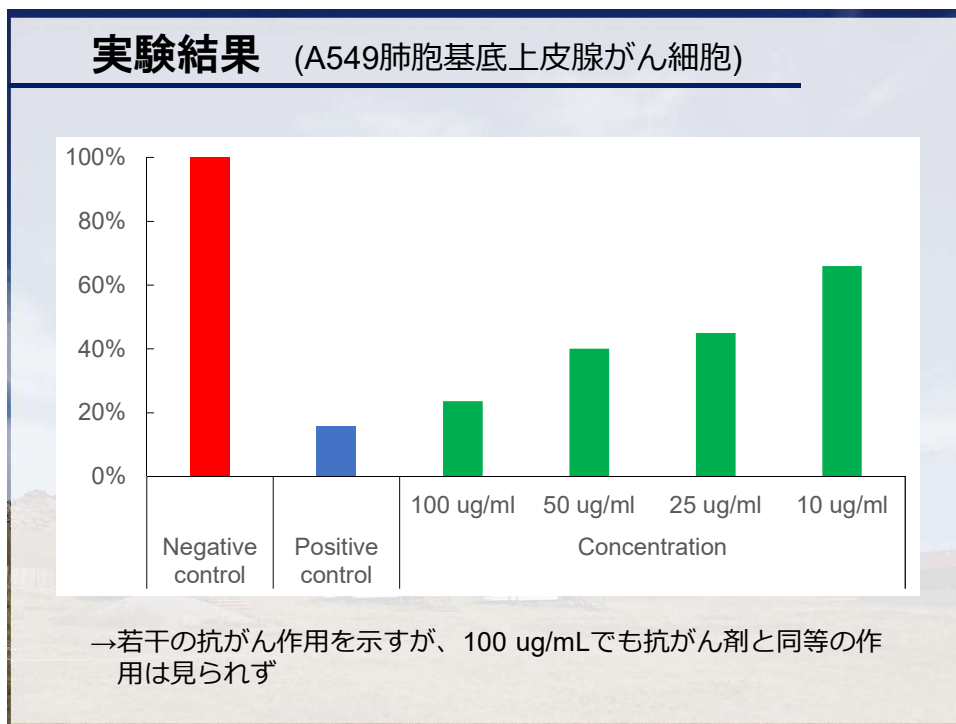
7



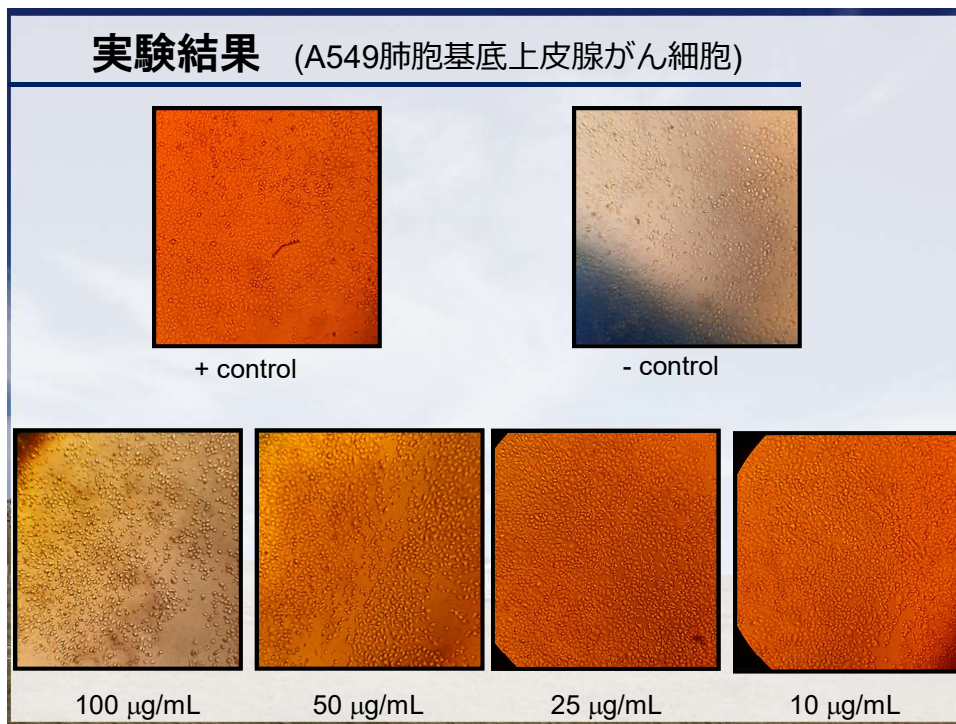
8



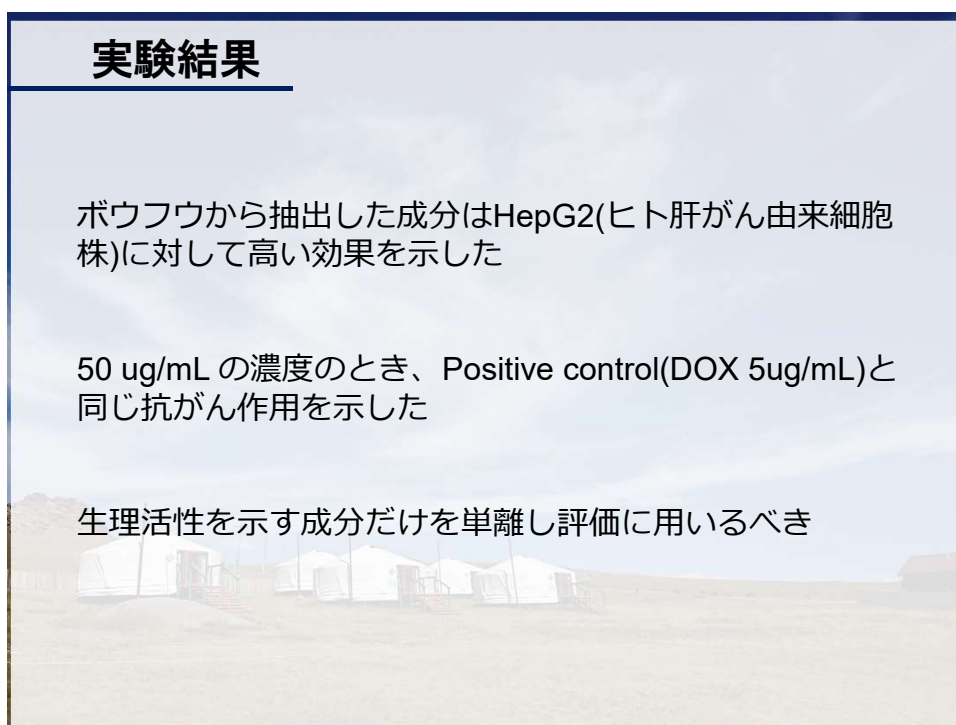
9



10



11



12

学校・工場見学

National University of Mongolia

モンゴルでみられる植物の生理活性について研究

Mongolian University of Life Science

羊や牛、馬などの動物に関する様々な研究

Experimental Biology Institute

モンゴルで育つ植物に関する研究

GOBI Mongolian Cashmere

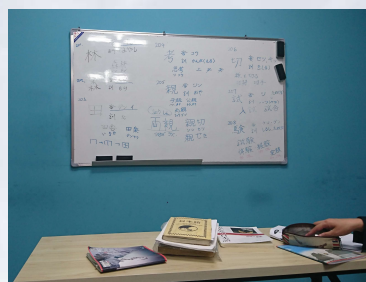
カシミア製品を作る工場



13

その他

日本語学校で授業



新モンゴル高専の学生に向けた高専・大学紹介



14

モンゴルの食事



15

モンゴルの交通



16